



左から石橋元事務局長・足立区長・井出会長 (50周年式典にて)

足立支部あだち女性の会

【足立・土木事務・井出 陽子記】平和運動や子育て世代向けのイベントなど、活動が盛んで支部の仲間にも愛され、足立支部が組合運動をする上でなくてはならない存在、それが「あだち女性の会」です。

組合と共に成長続ける 縁の下での力持ち

1970年5月に足立支部主婦の会が結成されて以降、仕事と暮らしを守る東

009年より、全ての女性が参加できるようにと呼称を「女性の会」に変更。組合運動では縁の下で力持ちとして拡大運動や集会を支



今年3月に行なった総会のようす (縮小開催)

え、住宅アールでは食事の提供など大活躍しています。独自企画としてバス旅行やミュージカル観劇などのレクリエーション、平和について考える企画を開催しており、参加者からは毎度好評を博しています。また他専門部や他団体との繋がりも深く、後継者対策部のクリスマススイ

若者の現状アピール 平和が建設業を発展させる

青年部

【本部・宮内竜平記】「な

ぜ、戦時下では、殺人が許されるのでしょうか。私たち市民が望むものはなんでしょうか」、「日本では、憲法9条の平和原則が建設業を発展させました。先人たちの思いは、青年部の運動にも脈々と受け継がれています」。

5月1日、若青年部長を筆

頭に、井の頭公園西園競技場で行なわれた第93回三多摩メーデー会場の舞台上に結集した青年部の仲間は、ウクライナの侵略に世界中の市民と連帯して、抗議しました。

Tシャツ作成で 反戦募金を訴え

この三多摩メーデー会場で

建設産業は、原油価格や材料費の高騰の影響があり、支援策が必要、また若労働者が定着しない現状を訴え、完

全週休2日制度導入と長時間労働の改善のために賃金引上げが大きなカギになると、「週休2日制にしろ」「賃金給与をあげろ」と元氣よくシュプレヒコール。最後に「ピース・フォー・ウクライナ」と力を込めました。

要求運動は止めず

作成動画を世界へ発信

3年ぶりにリアル開催となった、中央・三多摩メーデーですが、毎年恒例のデコレーションカー作成は、3月当初、コロナ禍で、中止を余儀なくされました。

「要求運動は止めない」と、青年部はメーデーを取り組む中で、新たな取り組みにチャレンジ中です。「メーデーアピールコンテスト」は、元氣よく活躍している姿を全国へ、そして、支部の仲間に向けてもアピールし若年労働者の要求実現へ向け、各支部が



今年のメーデーでは中央 (目黒・写真上) でも三多摩でも青年部は存在感を見せた

今年、日曜日となったことも相まって、少なからず支部から青年部の仲間が参加しました。

へ、そして、支部の仲間に向けてもアピールし若年労働者の要求実現へ向け、各支部が①春の拡大月間に合わせて、仲間の要求を集約②部会で動画を作成③独自の取り組みとして、平和学習や交流会などの開催にチャレンジする。①③について6月の拡大執行委員会にて仲間による投票でコンクールを行なうというものです。

春のアンケートでは、部会で議論(27支部)、メーデーの参加及び視聴(25支部)、メーデーの歴史やミニ学習(13支部)など運動がすすんでいます。

春の拡大月間では、メーデーに結集した仲間が奮闘し、新たな活動家として活躍しました。寄せられた動画を再編集して、全世界に発信することを検討しています。

殺陣は見応え十分 前進座5月公演を観劇

渋谷



観劇に訪れた渋谷支部の仲間

【渋谷・書記・池田昂平記】

5月22日に国立劇場にて前進座の『杜若艶色紫』(かきつばたいろもえぞめ)の公演が行なわれました。

渋谷支部では4月の執行委

員会に、今回の演目で利助役を演じられる松浦海之介さんをお招きし、本公演の見どころをお話いただきました。

鶴屋南北『杜若艶色紫』は歌舞伎ジャンルの中で、悪婆

もの「とされ、41年ぶりの再演となります。江戸時代の庶民の生活を描き、人間がどう生きるか、あられもない姿を描き出した南北の世界観は前進座の雰囲気にあった歌舞伎ジャンルであったそうです。見せ物小屋のお六が、破戒坊主の願哲と画策し遊女の八ッ橋から金を奪おうとする...という物語は、登場人物のお六と八ッ橋の二役早替わりや、願哲とのコミカルなやり取りに笑いもおきていました。最後の殺陣のシーンも見応えがあり、素晴らしいです。松浦海之介さんの訴えのおかげもあり、渋谷支部は全日程を通して8人と、観劇目標も達成できました。秋の公演も楽しみにしています。

小平東村山支部 (写真上) と府中国立支部の青年部が作ったアピール動画から

